

今年は秋開催！『岬の兄妹』に続く新たな才能求む！
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2020開催決定!!
会期：2020年9月26日(土)～10月4日(日)

本日[2020年1月23日(木)]より
コンペティション部門 作品公募開始!!

平素より大変お世話になっております。

世界に先駆けてデジタルシネマにフォーカスし、次代を担う新たな才能の発掘・育成と、映像産業の発展への寄与を目的として、2004年に始まったSKIPシティ国際Dシネマ映画祭は、17回目となる「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2020」を、2020年9月26日(土)～10月4日(日)の日程で開催することが決定しました!

開催決定に伴い、本日 2020年1月23日(木)から3月31日(火)の期間、コンペティション部門(国際コンペティション・国内コンペティション)で作品を公募します。



(写真) 2019年表彰式

国際コンペティションは広く世界中から、長編部門と短編部門の二部門に分かれた国内コンペティションは国内作品を対象に、エンターテインメント性とデジタルの新たな表現の可能性を感じる作品を募集します。ノミネート作品は映画祭期間中に上映し、著名な映画人等による最終審査を経て、最優秀作品賞をはじめ各賞を授与します。

本映画祭のコンペティションは、「次代を担う新たな才能の発掘・育成」を主たる目的としています。

これまでに、海外作品・監督では、カンヌ映画祭4冠を達成し、昨年最新作『読まなかった小説』が日本でも公開されたトルコの巨匠ヌリ・ビルゲ・ジェイラン監督(『うつろいの季節(とき)』、『シンプル・シモン』のアンдреアス・エーマン監督や『彼が見つめる先に』のダニエル・ヒベイロ監督、『家へ帰ろう』(映画祭上映タイトル『ザ・ラスト・スーツ(仮題)』)のバプロ・ソラルス監督など、各国の新鋭をいち早く紹介してきました。

また国内作品・監督では『凧待ち』『ひとよ』の白石和彌監督、『浅田家!』の公開も控える中野量太監督、『ピンカートンに会いに行く』の坂下雄一郎監督、『カメラを止めるな!』の上田慎一郎監督、『岬の兄妹』の片山慎三監督、『サクリファイス』の壺井濯監督らが本映画祭での受賞を契機に劇場公開や商業映画デビューへと羽ばたいていきました。

本映画祭は、2020年も“若手映像クリエイターの登竜門”として、映画界の未来を担う新たな才能の発掘の場となるべく開催して参ります。ぜひ本情報を貴媒体にてご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<コンペティション公募概要>

【公募期間】 2020年1月23日(木)～3月31日(火) 必着

【公募部門】 国際コンペティション、国内コンペティション

【応募方法】 映画祭公式サイト内オンラインエントリーフォームから応募 www.skipcity-dcf.jp

【公募対象作品】

■国際コンペティション (※長編作品のみ/国内作品・海外作品対象)

長編映画制作本数が3本以下の監督による60分以上の作品

■国内コンペティション (※長編部門、短編部門の二部門/国内作品のみ対象)

【長編部門】長編映画制作本数が3本以下の監督による60分以上の国内作品

【短編部門】商業公開された長編映画を制作したことがない監督による、15分以上60分未満の国内作品

※各部門ともに、実写作品(ドラマ・ドキュメンタリー)、アニメーション作品のいずれも応募可能です。

※ノミネート結果、賞構成、審査員は後日記者発表および公式サイトにて発表します。(参考：2019年賞金総額230万円)

※応募規約および応募方法の詳細は映画祭公式サイト(www.skipcity-dcf.jp)で公開します。

※[参考資料] 応募規約テキスト(PDF)は右記URLよりダウンロードいただけます。→ <http://gf1.work/86FV>

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2020 (第 17 回) 開催概要

- 会期：2020年9月26日(土)～10月4日(日) <9日間>
- 会場：SKIP シティ 彩の国ビジュアルプラザ 映像ホール(埼玉県川口市) 他
- 内容：国際コンペティション、国内コンペティション、特集上映、関連企画、イベント等予定(後日詳細発表)
- 主催：埼玉県、川口市、SKIP シティ国際映画祭実行委員会、特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会
- 公式サイト：www.skipcity-dcf.jp

<参考資料> これまでの主な受賞作品

- 『うつろいの季節(とき)』
2007年 長編部門 最優秀作品賞受賞 監督：ヌリ・ビルゲ・ジェイラン(『雪の轍』『読まれなかった小説』)
- 『ロストパラダイス・イン・トーキョー』
2009年 長編部門 SKIP シティアワード受賞 監督：白石和彌(『孤狼の血』『凧待ち』『ひとよ』)
- 『シンプル・シモン』 (2014年5月劇場公開)
2011年 長編部門 審査員特別賞受賞 監督：アンドレアス・エーマン
- 『チチを撮りに』 (2013年2月劇場公開)
2012年 長編部門 監督賞・SKIP シティアワード受賞 監督：中野量太(『湯を沸かすほどの熱い愛』『長いお別れ』)
- 『神奈川芸術大学映像学科研究室』 (2014年1月劇場公開)
2013年 長編部門 審査員特別賞受賞 監督：坂下雄一郎(『東京ウィンドオーケストラ』『ピンカートンに会いに行く』)
- 『孤独のススメ』 (2016年4月劇場公開/映画祭上映タイトル『約束のmatterホルン』)
2014年 長編部門 最優秀作品賞受賞 監督：ディーデリク・エビンゲ
- 『彼の見つめる先に』 (2018年3月劇場公開)
2014年 長編部門 脚本賞受賞 監督：ダニエル・ヒベイロ
- 『テイク 8』
2016年 短編部門 奨励賞受賞 監督：上田慎一郎(『カメラを止めるな!』『スペシャル・アクターズ』)
- 『世界で一番ゴッホを描いた男』 (2018年10月劇場公開/映画祭上映タイトル『中国のゴッホ』)
2017年 長編部門 監督賞受賞 監督：ユイ・ハイボー、キキ・ティンチー・ユイ
- 『家へ帰ろう』 (2018年12月劇場公開/映画祭上映タイトル『ザ・ラスト・スーツ(仮題)』)
2018年 国際コンペティション 観客賞受賞 監督：パブロ・ソラルス
- 『岬の兄妹』 (2019年3月劇場公開)
2018年 国内コンペティション(長編部門) 優秀作品賞・観客賞受賞 監督：片山慎三
- 『ナンシー』 (2020年3月「未体験ゾーンの映画たち2020」にて公開予定)
2018年 国際コンペティション 最優秀作品賞 監督：クリスティーナ・チョウ
- 『サクリフェイス』 (2020年3月劇場公開予定)
2019年 国内コンペティション(長編部門) 優秀作品賞 監督：壺井濯

<お問合せ> SKIP シティ国際Dシネマ映画祭事務局 広報：堀切

TEL: 048-263-0818 FAX: 048-262-5635 MOBILE: 090-4228-2342 E-Mail: horikiri@skipcity.com